



「ウェル・ビーイング」

校長 浦井 智治

寒さも本格的になり、12月がやってきました。この季節は、心温まるひとときを大切にし、互いに思いやりの心をもつことが重要です。今月の学校だよりでは、三輪野江小学校の取り組みの一つでもある「ウェル・ビーイング」に焦点を当て、子どもたちの心と体の健康について考えていきたいと思います。

「ウェル・ビーイング」は、福祉や幸福の状態を指す言葉で、人が心身ともに健康で満足している状態を表します。小学生にとっては、学業や友情、体験などさまざまな要素がウェル・ビーイングに影響を与えます。以下に、小学生向けにウェル・ビーイングを促進するためのポイントをいくつか挙げてみました。

- (1) **友達とのコミュニケーション**：友情やコミュニケーションは、小学生のウェル・ビーイングに重要な要素です。仲間と遊んだり、おしゃべりをしたりすることで、子どもたちは心の豊かさを感じることができます。
- (2) **学業と遊びのバランス**：学業は大切ですが、適度な遊びやリラックスも同じくらい重要です。遊びを通じて新しい経験を積み重ね、創造力を発揮することがウェル・ビーイングを促進します。
- (3) **体験と感謝の気持ち**：小学生は日々さまざまなことを学びながら成長しています。新しいことに挑戦したり、成功体験を積んだりすることで自己肯定感が高まり、ポジティブなウェル・ビーイングが得られます。同時に、日常の中で感謝の気持ちを大切に、小さな幸せに気づくことも重要です。
- (4) **健康な生活習慣**：適切な睡眠やバランスのとれた食事、運動は、子どもたちの健康をサポートし、ウェル・ビーイングを向上させます。規則正しい生活習慣を身につけることが大切です。
- (5) **感情の表現と理解**：小学生は感情豊かであり、感情の表現や理解が重要です。感情を適切に表現し、他者の感情に理解を示すことで、良好な人間関係が築かれ、心の健康が保たれます。

本年度も校長講話で、「いいとこメガネ」の話を子供たちにしました。友達のいいところに視点を当てること、友達のよさに気づくことで今いる環境を好きになることができます。どんな環境に置かれても、仲間のよさを発見できることで幸せを感じられるようになります。逆に、どんなに恵まれた環境にいても人の欠点ばかりに視点を向けてしまうと人間は幸せを感じません。

皆様もよく知っているアダムス・ヘレン・ケラーは、病気が原因で視力や聴力を失うという困難な状況にあっても意志をもち、積極的に前進し、自らの幸福を見出すことができる力を象徴していました。

12月は心温まる季節です。子どもたちが笑顔で過ごし、互いに助け合い、成長していく様子が見られることを願っています。ご家庭でも、ぜひウェル・ビーイングについてお子さんとお話し合いいただければ幸いです。

学校教育目標 あきらめず挑戦できる子

・勉強する子・やさしい子・元気な子

児童数 1年27名 2年24名 3年30名 4年33名
5年36名 6年37名 ひた 9名 合計196名

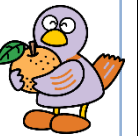
令和5年12月1日 発行

〒342-0022

吉川市加藤641番地

TEL 048-982-2330

FAX 048-984-5271



12月の行事予定

日	曜	行事予定
1	金	埼玉地区体育授業研究会 (5時間授業)
2	土	子供体験活動 (午前)・出張ワンダーランド (午後)
3	日	
4	月	特別日課5時間 個別面談① 放課後子供教室
5	火	特別日課5時間 個別面談②
6	水	特別日課5時間 個別面談③
7	木	特別日課5時間 個別面談④
8	金	特別日課5時間 個別面談⑤
9	土	
10	日	
11	月	4年点字体験 放課後子供教室
12	火	2年焼き芋体験 (仮)
13	水	
14	木	
15	金	6年中学校体験 クラブ活動
16	土	
17	日	
18	月	放課後子供教室
19	火	5時間授業 お話ぽけっとさん クリスマス会
20	水	5時間授業 給食終了日 大掃除・除雪作業
21	木	3時間授業 通学班会議・一斉下校
22	金	3時間授業 2学期終業式
23	土	
24	日	
25	月	冬季休業日
26	火	冬季休業日
27	水	冬季休業日
28	木	冬季休業日 (学校閉庁日)
29	金	冬季休業日 (学校閉庁日)
30	土	
31	日	



昔の生活に触れる 体験学習 (社会科見学)



4年生の児童は、さいたま市の県立歴史と民族の博物館にて、昔の生活体験をおこないました。火起こし体験やポンプでの水汲み、洗濯、石臼引きなどの実体験を通して、日常生活の豊かさや便利さを再確認しました。

頑張った校内持久走大会

今年も晴天の中、校内持久走大会を実施いたしました。低学年は、840M、中学年は1,000M、高学年は、1,200M走ります。たくさんの保護者が見守る中、日頃の練習の成果を多くの児童が発揮していました。温かい応援ありがとうございました。



シリーズで伝える、三輪野江小学校の昔話⑥

この写真は、学校応援団の山崎勇様が、身近にある廃材を使って作成した、昭和20年頃の三輪野江小学校の建物です。山崎様や当時通われていた方たちの話によりますと、



当時は三輪野江中学校が同じ敷地内にあったことや1つの建物に100人ぐらいの子供たちが勉強していたそうです。当時の授業の始まりや終わりを告げる鐘は、今でも学校に保管してあります。

1月の主な予定

1日(日)～8日(月) 冬季休業日 (1日～3日まで学校閉庁日)
9日(火) 3時間授業 3学期始業式 10日(水) 3時間授業
11日(木) 4時間授業 給食開始 避難訓練

令和5年度埼玉県学力・学習状況調査について

令和5年5月9日実施の埼玉県学力・学習状況調査の結果が10月下旬に発表され、小学校4年生以上の児童生徒については個人結果票が各家庭に返却されました。なお、本調査については問題用紙が回収され、非公開となっています。実力をさらに伸ばしたいと考えている方は埼玉県教育委員会HPで復習シートが公開されていますので活用をお願いします。

【保護者の方へ】 本調査では毎年実施することで一年間の伸びがわかるものです。児童生徒に配付された個人票をもとに、良い点や伸びている力について家庭でもお話しいただき、今後の成長のきっかけとしてご活用いただくようお願いいたします。

埼玉県教育委員会（埼玉県学力・学習状況調査）HP

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyow/20150605.html>

《調査の対象》 小学校4年生から中学校3年生全員

《調査内容》教科に関する調査 中学1年生までは、国語、算数・数学の2教科
中学2年生以上は、英語を加えた3教科



質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

「教科に関する調査(ペーパーテスト)」

本調査は、問題の難易度を考慮に入れて学力のレベルを測定する、つまり「どれぐらい難しいレベルの問題に正答できたか」という視点から、小学校4年生から中学校3年生まで、子どもたちの学力が伸びていく様子をより明確に示すことができる調査となっています。先述の復習シートには問題ごとにそれぞれのレベルが示されています。以前と比較してより難易度の高いレベルの問題に正答できる力を身に付けることができれば、学力の伸びの数値が高くなります。

(小学校)

	小4国語	小4算数	小5国語	小5算数	小6国語	小6算数
吉川市のレベル	6-B	5-B	6-B	6-B	7-A	6-A
昨年度からの伸び ()は埼玉県の平均	県レベル 6-C	県レベル 5-C	+2 (+2)	+2 (+2)	+3 (+2)	+1 (+1)

伸びは各レベルを3分割して測定しています。(例：レベル6と7(6C→6B→6A→7C→7B→7A)) 小学校では、埼玉県とほぼ変わらず、順調な伸びを示しております。

12月分 下校時刻の変更について(お知らせ)

日	曜	変更を必要とする 行事	変更後 登下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	金	埼玉県体育授業研究会				14:20	14:20	14:20
4 ~ 8	月 ~ 金	個別相談 特別日課5時間	13:50	13:50	13:50	13:50	13:50	13:50
15	金	中学校体験(6年)						15:00
19	火	通常日課5時間			14:20	14:20	14:20	14:20
20	水	通常日課5時間			14:20	14:20	14:20	14:20
21	木	通常日課3時間 一斉下校・通学路点検	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30
22	金	通常日課3時間 終業式	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20

※15日は、6年生が中学校体験のため東中学校から直接、自宅へ帰ります。

「質問紙調査」

様々な観点から児童・生徒に質問をおこないます。質問に対する回答から「学習方略」と「非認知能力」の数値を算出しています。数値が高いほど、その力があることを示しています。

学習方略・・・学習の効果を高めるために、個人で行う意識的な工夫・活動のこと

柔軟的方略・・・状況に合わせて学習方法を柔軟に変更する活動
プランニング方略・・・計画的に学習に取り組む活動
作業方略・・・ノートに書くなど、作業を中心に進める活動
認知的方略・・・より自分の理解度を深める活動
努力調整方略・・・苦手などの感情をコントロールする活動

県との比較
◎上回っている
△下回っている

		学 習 方 略				
		柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	認知的方略	努力調整方略
小4	吉川市	3.5	3.6	3.4	3.8	4.0
	県との比較	△		△	△	◎
小5	吉川市	3.4	3.5	3.2	3.7	3.9
	県との比較	△	△	△	△	
小6	吉川市	3.4	3.5	3.2	3.8	3.9
	県との比較	△	△	△	△	
中1	吉川市	3.5	3.6	3.5	3.8	3.9
	県との比較	△	△	△	△	
中2	吉川市	3.4	3.4	3.5	3.6	3.7
	県との比較	△	△		△	
中3	吉川市	3.5	3.4	3.5	3.7	3.6
	県との比較	△	△	△	△	

ほぼ、小中学校ともに県平均に近い数値となっておりますが小学校、中学校共に、努力調整方略以外に課題があります。これは、1つの項目を伸ばすと考えるより、学習を意図的に取り組むようにする必要があります。

非認知能力・・・学力では図ることができない自制心、自己効力感、向社会性、勤勉性などの力のこと。

自己効力感・・・「自分はそれができる」という期待や自信
自制心・・・自分の意思で感情や欲望をコントロールする力
向社会性・・・他の人を思いやる気持ち
やり抜く力・・・最後まであきらめずにやり遂げる力
勤勉性・・・やるべきことをきちんとやることができる力

県との比較
◎上回っている
△下回っている

学年	非認知能力									
	小4		小5		小6		中1		中2	
項目	自己効力感	自制心	自己効力感	やり抜く力	自己効力感	向社会性	自己効力感	勤勉性	自己効力感	自制心
吉川市	3.7	3.7	3.4	3.1	3.4	2.8	3.3	3.2	3.1	3.7
県との比較		△	△		△	△	△	△	△	△

県平均と比べると下回っている項目が多いですが、向社会性以外はどれも近い数値となっております。向社会性は、「相手の気持ちを考える」等、人々のためになることをしようとする力のため、日頃の生活や道徳教育の中で優しい心を育てていきます。